

理工学

メディアセンター

ニュース

No.116

OCT.2008

"Information and Media Center for Science and Technology" Newsletter

10月の開館時間

無印：通常開館

月 - 金 8:45-21:30 / 土 8:45-20:00

○：閉館

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

*来月以降の開館予定は次のウェブページでご覧いただけます。

<http://www.scitech.lib.keio.ac.jp/service/calendar/>

*塾内各地区メディアセンターの10月の開館日程は次のウェブページでご覧いただけます。

<http://www.lib.keio.ac.jp/schedule/200810.pdf>

目次

お知らせ 2

メディアセンターを評価してください

レファレンスブック利用度調査へのご協力をお願い

リザーブ図書制度のご案内

複写室内にオープン掲示板を新設

第13回企画展示『有人宇宙飛行への招待』

「医中誌 Web」新規導入

雑誌の動き 4

コラム 4

新着図書紹介 『電磁波の解法』

お知らせ

* メディアセンターを評価してください

慶應義塾大学メディアセンターでは、図書館の資料、サービス、スペースなどに対する改善への要求と今後の方向性を確認するために、LibQUAL + (R) (ライブカル) というウェブによるアンケート調査を実施いたします。

すでに対象者の方には、図書館に登録されているメールアドレス宛に調査実施の予告とお願いのメールをお送りしております。調査期間に入りましたら、調査サイト URL が記載されたメールをお送りいたしますので、アクセスの上ご回答ください。ご協力をよろしくお願いいたします。

調査期間：2008年10月6日（月）～11月1日（土）

調査に関するQ & A ページ：<http://project.lib.keio.ac.jp/libqual/>

問い合わせ先：z-assess@lib.keio.ac.jp（利用者調査ワーキンググループ）

* レファレンスブック利用度調査へのご協力をお願い

現在、創想館1階・本館1階の「レファレンス書架」に並んでいる資料の利用度調査を行っています。調査の対象となる書架に掲示を出していますので、資料をご利用になられた際は、書架には戻さず、返却用のブックトラックにのせてください。ブックトラックにのせられた資料は、利用があったものとしてカウントしています。調査期間は秋学期中を予定しています。ご協力をお願いいたします。

* リザーブ図書制度のご案内

「リザーブ図書制度」とは、教員の方々が授業や研究会等で使用される特定資料の取り置きを希望される場合、一定期間メディアセンター内のリザーブ図書コーナー（創想館1階低書架）において利用していただく制度です。資料の貸出はオーバーナイトになります。

受付期間：随時

申込方法：申請書（下記 URL からダウンロードできます）に記入し、メディアセンター入口の貸出・返却カウンターへご持参いただくか、riko-cir@lib.keio.ac.jp へメール添付でお送りください。

詳細は、当センターホームページをご覧ください。

<http://www.scitech.lib.keio.ac.jp/service/reserve.html>

* 複写室内にオープン掲示板を新設

本館複写室内に、新しく掲示板を設けました。当センターからのお知らせを掲示するスペースとともに、一部をオープンスペースとしました。学生・教職員の皆様の活動等を宣伝するためのポスターやちらしを貼ることができます。ご希望の方はレファレンスカウンターへ掲示物をお持ちください。スペースに限りがありますことを予めご了承ください。

* 第 13 回企画展示『有人宇宙飛行への招待』

宇宙に行ってみたい、それをかなえる有人宇宙飛行は 1950 年代後半から計画され、1961 年ソ連のボストーク号の成功によって歴史が始まります。そして、1969 年アメリカのアポロ 11 号による有人月面着陸で人類の新たな一歩を印し、以後、開発は再使用可能なスペースシャトル計画へと移っていきます。

日本では、1992 年、毛利衛さんがスペースシャトルに搭乗して以降、向井千秋さんをはじめ 8 人が宇宙飛行士に選ばれ、実験や国際宇宙ステーション計画ミッションの実施、地上からのサポートを行っています。今年 6 月 1 日には、機械工学科出身の星出彰彦さんがスペースシャトル・ディスカバリー号に搭乗し宇宙に旅立ちました。理工学部キャンパスでは打ち上げ時刻にあわせ「翔べ！宇宙へ！！星出彰彦君を応援する会」を開催し、多くの方が一緒に打ち上げを見守りました。

今回の展示は、有人宇宙飛行の歴史を振り返ります。また、星出さんの関係者の方々からお借りした資料も展示していますので、あわせてご覧ください。

期間：8 月 19 日（火）～ 10 月 31 日（金）

場所：理工学メディアセンター創想館 1 階

<http://www.scitech.lib.keio.ac.jp/tenji/13th-exhibition-top.html>

* 「医中誌 Web」新規導入

国内で発行される医学・看護・歯学・薬学系の文献を網羅するデータベース「医中誌 Web」を矢上キャンパスのネットワークからご利用いただけるようになりました。国内の大学・学協会・研究所・病院などから発行されている雑誌、営業誌、学会等の会議録、講演集、公共資料など、約 2,400 誌に掲載された論文を検索できます。当センター Web サイト「データベース」(<http://www.scitech.lib.keio.ac.jp/dblist/index.html>) の“論文の検索”から、または以下の URL から直接ご利用いただけます。

「医中誌 Web」<http://login.jamas.or.jp/>

* 上記についてのご質問等は、当センターレファレンス担当までお問い合わせください。

(連絡先→ riko-ref@lib.keio.ac.jp, 内線 40307)

雑誌の動き

【誌名変更】

- ・労働安全衛生総合研究所特別研究報告

= Specific research reports of National Institute of Occupational Safety and Health

(前誌：産業安全研究所特別研究報告 = Special research report) No. 34 (2006)-

【廃刊】

- ・Annual reports in organic synthesis -2004 (2004)

コラム

* 新着図書紹介 『電磁波の解法』

佐藤久明著 日刊工業新聞社 2008 年

無線通信の発展は目覚ましく、それに伴い電磁波の有効利用が望まれています。そのため、無線通信システムにおける電磁波について、より一層の理解が求められているなか、電磁場解析ソフトが手軽に利用可能になったおかげで、電磁波の専門家でなくても可視化された電磁場の様子を簡単に見ることができるようになりました。しかし、得られた結果が物理的に正しいかどうかを判断したり、新しいマイクロ波デバイス、アンテナ等を開発するためには、電磁場解析手法を学び理解することが必要となります。

本書は、電磁波解析に必要なマックスウェルの方程式をはじめ、電磁波技術における基本的な解析技術、また、最近特に重要になりつつある導波系、共振器、フィルタなどの集積回路化の関連技術を丁寧に解説しており、電磁波の解法を学ぶテキストとして広く活用できる内容となっています。

(請求記号：427.7@S2@1 配架場所：本館 2F 一般図書)

◆発行：慶應義塾大学理工学メディアセンター

E-mail : riko-info@lib.keio.ac.jp Home Page : <http://scitech.lib.keio.ac.jp>

電子版のご利用はこちら→ <http://www.scitech.lib.keio.ac.jp/guide/publication/mcnews.html>